

生きるとは？(8)

「知り尽くし難い神の知恵」

(館野 真貴子 牧師)

【聖書のみことば】 伝道者の書 8章 9-17節

- 9 私はこのすべてを見て、日の下で行われるいっさいのわざ、人が人を支配して、わざわざ  
いを与える時について、私の心を用いた。
- 10 そこで、私は見た。悪者どもが葬られて、行くのを。しかし、正しい行いの者が、聖な  
る方の所を去り、そうして、町で忘れられるのを。これもまた、むなしい。
- 11 悪い行いに対する宣告がすぐ下されないので、人の子らの心は悪を行う思いで満ちてい  
る。
- 12 罪人が、百度悪事を犯しても、長生きしている。しかし私は、神を恐れる者も、神を敬  
って、しあわせであることを知っている。
- 13 悪者にはしあわせがない。その生涯を影のように長くすることはできない。彼らは神を  
敬わないからだ。
- 14 しかし、むなしいことが地上で行われている。悪者の行いに対する報いを正しい人がそ  
の身に受け、正しい人の行いに対する報いを悪者がその身に受けることがある。これも  
また、むなしい、と私は言いたい。
- 15 私は快樂を賛美する。日の下では、食べて、飲んで、楽しむよりほかに、人にとって良  
いことはない。これは、日の下で、神が人に与える一生の間に、その労苦に添えてくだ  
さるものだ。
- 16 私は一心に知恵を知り、昼も夜も眠らずに、地上で行われる人の仕事を見ようとしたと  
き、
- 17 すべては神のみわざであることがわかった。人は日の下で行われるみわざを見きわめる  
ことはできない。人は労苦して捜し求めても、見いだすことはない。知恵ある者が知っ  
ていると思っても、見きわめることはできない。